

相談支援係  
072-941-3365

情報チーム  
072-943-5785

研究研修係  
072-943-5784

教育センター  
Web pageは  
こちらから



## 幼児教育研修＜保育のための基本研修②＞



令和4年12月2日（金）午後3時～午後5時に幼児教育研修＜保育のための基本研修②＞を八尾市立南山本せせらぎこども園で行いました。

講師は岡澤哲子教授（帝塚山大学）で「乳幼児期の発達を支える運動遊び」をテーマに講義・実技を行っていただきました。

前半の講義では、子どもの感覚統合は「基礎感覚」を土台としてピラミッドのように発達します。そのため土台が、1つでも抜けていると、バランスが悪くなり崩れやすくなると教えていただきました。

後半の実技では、子どもたちには「内発的動機づけ」が大切であることも踏まえ、楽しく体を動かしながら学ぶことができました。

＜受講者感想＞

- ・「以心伝心遊び」や「あいこじゃんけん」など、友達の輪が広がりそうな遊びもたくさんあり、早速保育に取り入れてみたい。
- ・タオルは身近にあるものなので、すぐに保育の中で実践でき、クラスだけでなく地域交流での親子遊びでも楽しめると思う。
- ・保育者としてのねらいをしっかりと持ちつつ、子どもたちの自然な笑顔が見られるような遊びを大人も一緒になってやっていきたいと思った。



## 幼児教育研修＜地域連携研修＞



令和4年12月5日（月）午後3時～午後5時に幼児教育研修＜地域連携研修＞を本センターで行いました。講師は鶴宏史教授（武庫川女子大学）で研修テーマは「地域における子育て支援 ～地域資源の活用～」です。

最初の講義では子育て支援としての「社会資源」にはフォーマルとインフォーマルがあることを教えていただきました。その後、事例を用いてグループワークをしました。グループワークを通して、自身の考え方が広がり、支援者としてできることは何かを再認識することにつながる研修でした。

＜受講者感想＞

- ・八尾市にはこども総合支援センター『ほっぴ』ができたのでサービスの提供もスムーズになると思った。
- ・社会資源について詳しく知ることができた。今後必要に応じて活用していきたいと思う。
- ・グループワークでは多面的な意見を聞くことができて自分の考えを深めることができた。



## 「授業と講演（体育）」



撮影した自分の試技を30秒後に視聴できるアプリを使って、自分の課題を見出す。



令和4年12月9日（金）午後1時50分～午後4時50分に「授業と講演（体育）」を志紀小学校で行いました。授業者は上松知稀教諭（志紀小学校）で授業の単元は『跳び箱』で体育館で行いました。講評・研修講師は白旗和也教授（日本体育大学）で、講演テーマ「ICTを活用した体育の授業づくり」です。研究協議では授業者からの振り返りと受講者からの質疑応答があり、研究協力員（体育部）の活動について部会を代表して岡本光教諭（志紀小学校）から報告がありました。その後のグループ協議では「ICTを活用した体育の授業づくり」をテーマに話し合い、各班から報告が行われました。白旗教授からは生涯スポーツの意義について、その中における器械運動の役割、さらには学習指導要領に示された「主体的な学び」についてICTを有効に活用していくにはどうしたらいいかなど、たっぷりご講義いただきました。



### ＜受講者感想＞

- 子どもたちが意欲的に活動している姿が見れた。
- 器械運動の意義を深く考えることができた。今後の体育の授業に活かしていきたい。
- 運動量を減らさずに、上手くICTを活用して苦手克服や評価出来るか考えることができた。
- 子どもが自分の姿を客観的に見ることができ、次の試技に活かそうとしているのが印象に残った



## 研究協力員（道徳部）研究授業

令和4年12月9日（金）午後2時40分～午後4時30分に研究協力員（道徳部）の研究授業と研究協議を行いました。授業者は東口浩司教諭（高安小中学校3年担当）で教材名は「SL 公園で」（「新しいどうとく③」東京書籍）です。研究協力員（道徳部）の本年度の研究テーマは、「道徳教材の読みを深める」です。これに沿って活発な研究協議を行いました。



## さわやかルーム



令和4年12月16日（金）午後1時～午後1時40分に「さわやかルーム舞台発表会」ペープサート劇を本センターで行いました。この作品は「さわやか」に集う子どもたちが、センター職員や学生ボランティアの支援を受けなが

ら作り上げたものです。ストーリーや脚本をはじめスクリーンに映し出した背景画像やペープサートの絵に至るまで、話し合いながらオリジナルのものを作り上げました。声優は子どもたちです。上演後、本センター打抜所長より「講評とお礼の言葉がありました。子どもたちは自分の制作役割と声の役、制作上の苦労話などを各自語りました。

### ＜観客感想＞

- それぞれのキャラクターについて、場面ごとに数種類の表情を描き分け、彩色もグラデーシ



ョンを取り入れるなど丁寧な作品だと思う。

- 声が素晴らしかった。タイミング、感情表現など、どれをとってもプロの声優が演じているようだ。
- 制作・練習の段階で、「さわやかルーム」に集う仲間の親交が深まったように感じる。
- オリジナルのストーリー、脚本は素晴らしい。

### 10年経験者研修③



＜受講者感想＞

- 「対話的な学び」の実現のための交流の仕方、考え方を広げ深めたいような課題設定を意識していきたい。
- 10年という経験を積んだことで、より「子どもたちが分かる授業がしたい」という思いが強まり、課題も増えてきたように思う。
- 情報活用能力や問題解決能力というキーワードから、授業をつくっていく中で、どのようにその能力を伸ばすのかという課題に取り組んでいきたい。
- 「未知の状況にも対応できる力」は今の時代の状況を見ていると本当に大切だと思った。
- 学習評価について、自分の中で指標を持つことで、子どもの現状をより理解し、指導に活かせると実感した。

令和4年12月26日（月）午前9時～正午に10年経験者研修③を本センターで行いました。鈴木雅博指導主事（本教育センター）をファシリテーターとして、「授業改善の推進【検証】」の研修を行いました。班別討議を行った後、各班から討議内容の報告を行いました。



### 首席研修②



令和4年12月26日（月）午後3時30分～午後5時に首席研修②を本センターで実施しました。研修講師は山中矢展特任講師（奈良教育大学）で、研修テーマは「首席を活用したこれからの学校づくりー学校組織の改善を通じた事例研究ー」です。



### <受講者感想>

- ・研修で「学校力とは？」と問われたが、私は組織力だと思う。組織力はコミュニケーションによって形成される。コロナ禍で職員間のコミュニケーションが足りていないように思う。私は首席として教員間のコミュニケーションを活性化させたい。できれば、これを保護者・地域にも広げていきたい。
- ・「相談支援・人材育成」では、自分の経験（失敗したことや、そこから学んだ）を伝えることで経験年数の少ない教員を支援し、さらには次世代のミドルリーダーを育成していきたい。
- ・「意思決定支援」に関して、普段からアンテナを高くし学校全体について状況を把握した上で、学校長の示した方向性に沿った前向きな進言を行っていきたい。

## 教育センター「情報公開コーナー」

教育センターB棟（東側）の2階に「情報公開コーナー」があります。各種教育関係図書・雑誌等を配架しています。もちろん「教科書センター」として八尾市で採択している教科書や他社の教科書もあります。研修等で来所された時に直接ご覧いただければ幸いです。教科書・その他書籍・雑誌等も2週間の貸し出しを行っております。今回は12月から1月に配架した雑誌の誌名と目次の一部を紹介いたします。

### 「指導と評価」（日本教育評価研究会）1月号

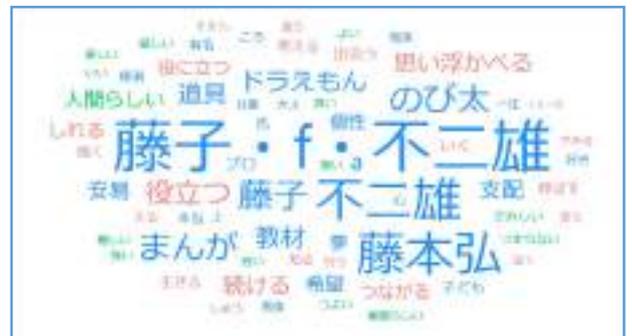
- ・特集1 一年生の困難
- ・特集2 児童虐待

### 「道徳教育」（明治図書）1月号

- ・特集 データで見る道徳×データを生かす道徳授業

#### <雑誌記事を読んで>

「道徳教育」2023年1月号（明治図書）の7ページに押谷由夫教授（武庫川女子大学）が「着実な発展へとつながる多様なデータの収集と活用」という文書の中で、統計分析ソフトについて触れておられます。道徳科の授業で活用できるのではないかとのことです。子どもたちが端末に入力した文章全体を様々な形式で分析し、情報（使われている単語の種類や回数など）を視覚化して表現するものです。これを授業で活用すれば、子どもの入力した文書の傾向を瞬時に表現できます。使用頻度が高いから大切だとは限りませんが、何を連想し、何に注目しているのかはわかります。この機能は本市で導入しているソフトウェアでも使用可能です。（葭仲）



上の図は、小学2年 道徳教材（東京書籍）『ぼくは「のび太」でした～藤子・F・不二雄』について調べたもの（A4用紙4枚、4030文字）を統計分析ソフトで分析したものです。

### 「こころの科学」（日本評論社）No.227 1月号

- ・特別企画 発達障害の支援をつなぐ 本田秀夫 編

### 「月刊学校教育相談」（ほんの森出版）1月号

- ・特集 『生徒指導提要』改訂版を教育相談で活用する

### 「特別支援教育」（文部科学省編集・東洋館出版社）令和4年冬 No.88

- ・特集 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組

—知的障害者である児童生徒に対する教育を行う

特別支援教育学校の各教科等の指導に当たって—

「特別支援教育研究」（全日本特別支援教育連盟編集、東洋館出版社）1月号

- ・特集 学習につまずきのある子どもの指導・支援

「初等教育資料」（文部科学省編集、（株）東洋館出版社発行）1月号

- ・特集Ⅰ GIGA スクール構想のもとでの各教科等の指導②
- ・特集Ⅱ 「家庭」学習指導要領における指導のポイント  
「家族・家庭生活についての課題と実践」の指導の充実

「中等教育資料」（文部科学省編集、学事出版）1月号

- ・特集 中学校における資質・能力の育成に向けた教育活動の充実②  
＜音楽,美術,保健体育＞

教育科学「国語教育」（明治図書）1月号

- ・特集 国語教師のための「読書」大全

教育科学「社会科教育」（明治図書）1月号

- ・特集 確かな学力を保障する！多様な学びを活かした授業デザイン

「新しい算数研究」（新算数教育研究会編集、東洋館出版社）1月号

- ・特集 算数の「個別最適な学び」「協働的な学び」を創る算数研究・研修の在り方



「ナキウサギ」小川 英敏 氏 撮影

